

このたびは、「アローボイス」をお買上げいただき誠にありがとうございます。ご使用に際しましては、まず、この取扱説明書を最後までご覧になって、使用上の注意等、十分にご理解頂き、性能が万全に発揮できる状態で末永くご愛用ください。また、いつでもご利用できるよう大切に保管してください。

お願い

出荷に際しては、取扱説明書を含め十分なチェックをして万全を期しておりますが、万一ご使用中にご不審な点やお気づきのことがありましたらお買上げの販売店か最寄の当社営業所までご連絡ください。

- 寸法、仕様および構造は、今後改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。あらかじめご了承ください。

概要

☆本機は産業機器の異常報知や作業場の危険警報、業務上の合図、識別および防災等、様々な報知を音声で行う音声合成警報器です。

目次

- 1: ▲安全にお使いいただくために
- 2: 各部の名称
- 3: 電源電圧の設定
- 4: 取付方法
- 5: 結線方法
- 6: 使用方法
- 7: タイムチャート
- 8: 音声ROM交換方法
- 9: 定格
- 10: 外観図

1 ▲安全にお使いいただくために

本機のご使用前に以下の「重要注意事項」をよくお読みいただき遵守してください。

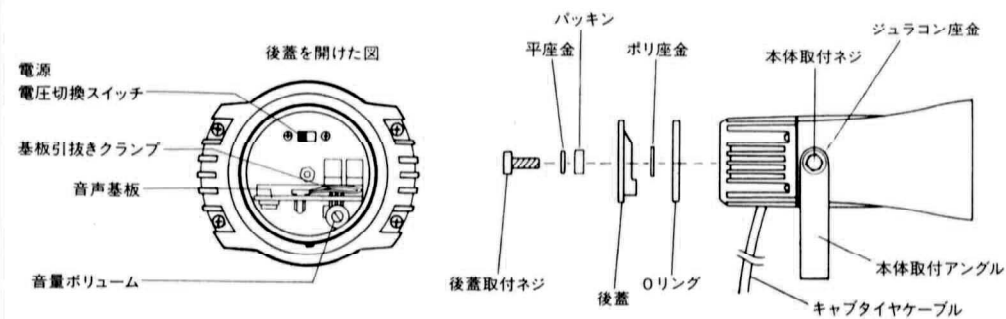
▲注意：感電事故をさけるために

◎感電事故や内部回路破損による故障を避けるため、結線時や電源電圧設定時等は必ず電源を切って作業を行ってください。

▲注意：本機の故障をさけるために

◎本機を定格範囲外でご使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないことがありますので、定格表に記載されている範囲内で使用してください。

2 各部の名称



3 電源電圧の設定

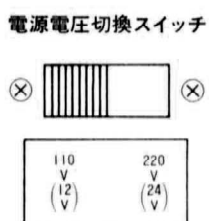
注意

◎電源電圧の設定は必ず電源を切って行ってください。

●本機は出荷時にはAC110V/220VタイプはAC220V、AC/DC・12V/24VタイプはAC/DC24Vに設定してありますので、AC110V又はAC/DC12Vでご使用される場合、電源電圧の設定変更が必要です。以下の手順に従って設定を行ってください。

＜設定の手順＞

- ① ②項の図を参照して後蓋取付ねじを外し、後蓋を取外してください。
- ② 電源電圧切換スイッチを110V又は12Vに設定してください。又、電圧を設定された場合、コード引出部付近に貼付けてある電圧シールを必ず付属の電圧シールに貼り変えてください。
- ③ 後蓋を元通りに取付けます。この時、Oリング、バックシム等は防水性を保つため、確実に元通りに取付けてください。又、後蓋には方向がありますので切込部を合わせるようにして取付けてください。尚、Oリングには十分な防水性を保つためシリコン系グリスが塗布されていますので、繰返し後蓋を開閉された場合等はグリスを追加塗布されることをお勧めします。(信越シリコン製 KS-64又は相当品)

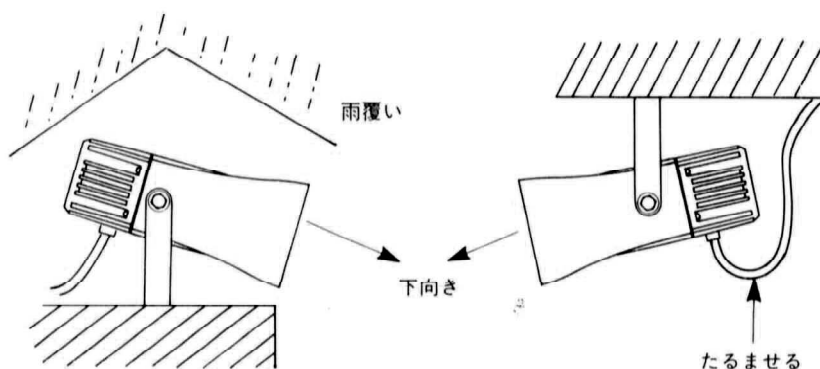


4 取付方法

注意

- ◎取付けはホーン開口部が水平よりも下向きになるようにしてください。
- ◎本体から本体取付アングルを取外し、再度取付ける時には必ず本体とアングルの間に元通りにジュラコン座金を挿入してください。

- 取付けは振動の少ない十分強度のある面を選んでください。
- ⑩項の外観図を参照にし、必要に応じて本体取付アングルを本体から取外してから確実に取付面に取付けてください。
- 取付け場所が屋外のポール上等強風により圧力のかかった水(風雨)が本機に大量にかかる恐れがある場合、水の侵入を防ぐ為、雨覆いを取付けてください。



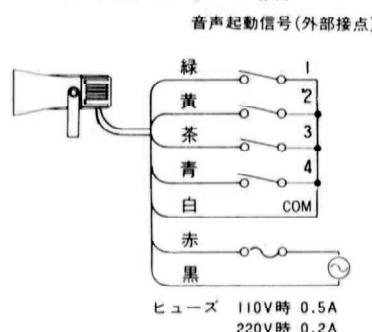
5 結線方法

注意

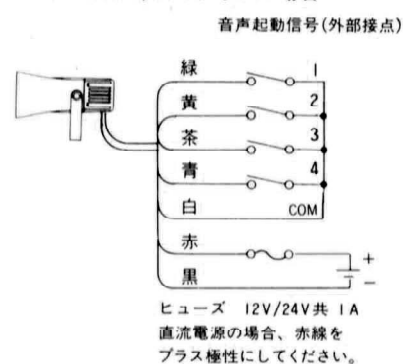
- ◎まず、結線する前に使用電源電圧と本機の電源電圧の設定が一致している事をご確認ください。
- ◎結線する時は電源を切ってください。
- ◎電圧変動の激しい電源(変動率10%を超える電源)やノイズ、サージを多く含む電源(±700V、1μsを超えるもの)でのご使用はさけてください。誤動作や故障の原因となります。
- ◎配線(特に音声起動信号回路)は、余分な引き廻しや、高压ケーブル等との併設はさけてください。電磁誘導により、誤動作や故障の原因となります。

- 本機にはヒューズを内蔵しておりませんので、電源は保護用ヒューズを介して供給してください。
- 音声起動信号回路にはリレーやスイッチ等の無電圧接点回路またはオープンコレクタ回路(シンク型のもの)をご使用ください。

AC110V/220Vタイプの場合



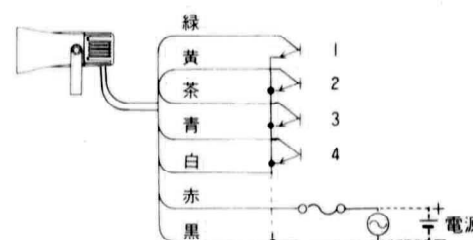
AC/DC12V/24Vタイプの場合



- 音声起動信号回路にはDC24V 10mAをスイッチングできるものをご使用ください。

- AC/DC12V/24Vタイプにおいて直流電源で使用される場合のみ音声起動信号回路の共通側を本機のCOM線(白線)の代わりに電源のマイナス線(黒線)に接続しても使用できます。

オープンコレクタ接続例



## 6 [使用方法]

### 注意

- 本機は防滴構造となっており、**4**項に基づいて正常に取付けた場合、水が侵入しない構造となっております。但し、直接高圧の水をかけたり、水中につけたりすることは絶対にさけてください。
- 本機はIC、LSIを使用しているため、電磁波の強い場所での使用はさけてください。誤動作により音が出なくなることがあります。
- 電源のON、OFFはチャタリング的に短時間に行わないでください。誤動作の恐れがありますのでOFF後は少なくとも2秒以上後にONになるようにしてください。又、電源電圧が徐々に上昇するような投入はさけてください。誤動作の恐れがあります。

- 本機は電源を投入後、音声起動信号回路が瞬時(100ms以上は必要)ONになれば、ONになったチャンネルの音声を最後まで1回だけ再生し、連続してONになれば音声を繰り返し再生します。(タイムチャート参照)
- 同時に複数のチャンネルの音声起動信号回路がONした場合、ONになったチャンネル番号の内一番若いものを再生します。(タイムチャート参照)(バイナリ仕様を除く)
- バイナリ入力仕様でご注文された場合、各音声起動信号の組合せと再生チャンネルは下図のようになります。尚、各信号間のタイムラグは10ms以下にしてください。

バイナリ入力時の対比表

再生チャンネル	待機	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
音声起動信号回路番号	1		○	○		○		○		○		○		○		○
	2			○	○		○	○			○	○			○	○
	3				○	○	○	○					○	○	○	○
	4								○	○	○	○	○	○	○	○

○: ONになった音声起動信号回路

### 音量調節

音量調節は後蓋を取外して、本体後面にある音量ボリュームにより行います。尚、出荷時、音量は最大に設定してあります。

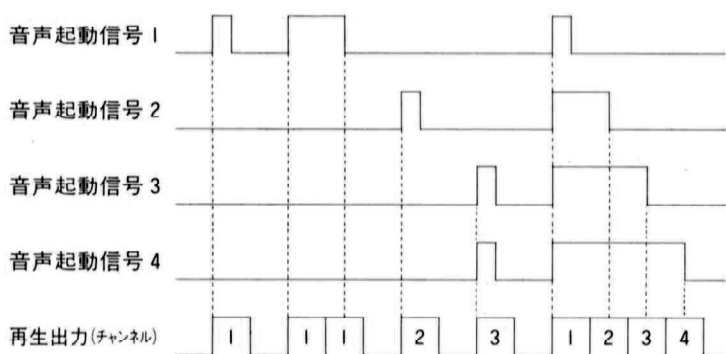
- 3**項の「設定の手順」および**2**項の図を参照にし、後蓋を取外してください。
- 音量調節は小型のマイナスインプラーにて行い、音量を下げる時は左へ廻してください。尚、ボリュームは強く押しすぎたり、無理に廻したりしないでください。故障の原因となります。
- 調節が終われば**3**項の「設定手順」を参照にし、後蓋を元通りに取付けてください。



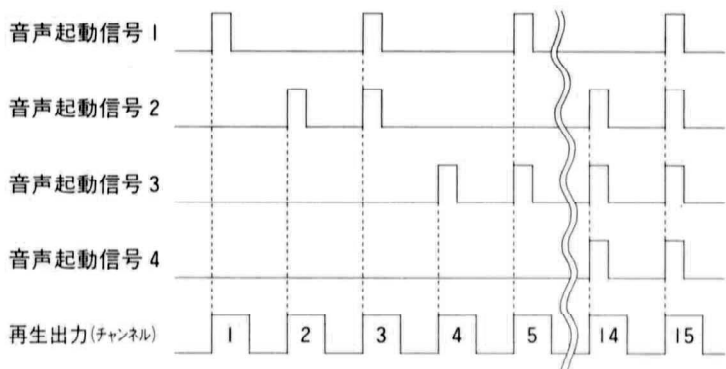
音量ボリューム

## 7 [タイムチャート]

### 標準



### バイナリ仕様



※このタイムチャートにはタイムラグは含まれておりません。

## 8 [音声ROM交換方法]

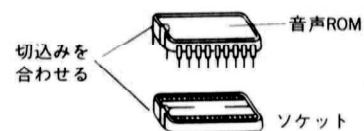
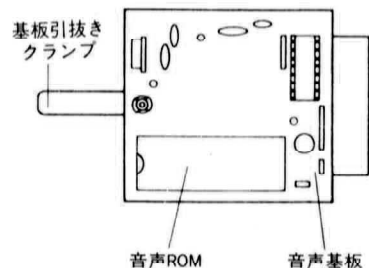
現在ご使用されている音声内容を変更する場合、本体内部にセットされている音声ROMを取り外し、新たに弊社にご注文された音声ROMと以下の手順に従って交換してください。

### 注意

- 音声ROM交換時は必ず電源を切って行ってください。
- 音声ROMの挿入時は方向を間違わないよう注意してください。又、ROMの足が折れ曲がったりしないよう注意して確実に挿入してください。
- 音声ROMを引き抜く際、マイナスインプラー等で行う場合は基板のパターンを切断しないよう注意してください。
- 音声基板を本体に挿入する際、傾いていると挿入できません。又、無理に挿入しますと部品破損の恐れがありますので、まっすぐ確実に挿入してください。

### 音声ROM交換の手順

- 1 **2**項の図を参照した後蓋取付ねじを外し、後蓋を取り外してください。
- 2 基板引き抜きクランプを引き起こし、音声基板をまっすぐに引き抜いてください。
- 3 音声基板上の音声ROMを引き抜き、新たな音声ROMと交換してください。
- 4 音声基板を本体に元通りに挿入してください。
- 5 後蓋を元通りに取付けてください。



## 9 [定格]

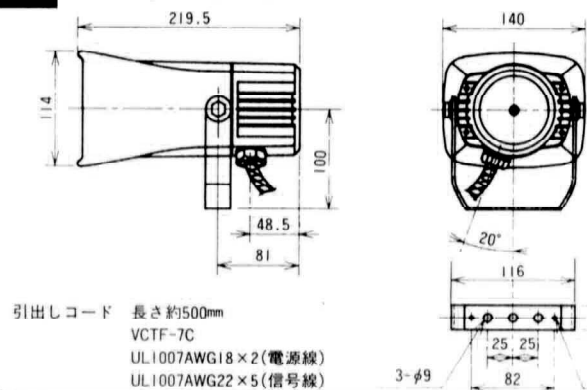
### 定格

型 式	SV-25A4-AC		SV-25A4-DC	
定格電源電圧	AC110V 50/60Hz	AC220V 50/60Hz	AC/DC12V	AC/DC24V
使用電圧範囲	90V~120V	180V~240V	10V~14V	19V~27V
定格消費電流	80mA	40mA	0.5A/0.4A	0.5A/0.4A
定格出力	最大2W			
音 圧	102dB(1m前方)			
定格時間	連続			
使用周囲温度	-10℃~50℃			
使用周囲湿度	35%~85%RH(結露なきこと)			
構 造	防滴構造(IP53)			
色 調	ホワイトグレー			
重 量	約1.2kg		約1.0kg	

### 音声合成部

音声合成方式	ADPCM方式
ビットレート	標準64kbit/s (32kbit/s、128kbit/sも可)
音声記憶時間	標準 合計16秒 (64kbit/s) (32kbit/s時 32秒、128kbit/s時 8秒)
音声制御数	4種類 (バイナリ仕様時 15種類 4ビット)
音声起動信号入力回路	無電圧接点又はオープンコレクタ(シンク型) DC24V10mAをスイッチングできるもの COM: マイナス
音声起動信号パルス幅	100ms以上

## 10 [外観図]



引出しコード 長さ約500mm  
VCTF-7C  
UL1007AWG18×2(電源線)  
UL1007AWG22×5(信号線)

## アロー電子工業株式会社

ARROW ELECTRONICS IND. CO., LTD.

本 社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東2丁目22-13  
☎06(6961)-0351(代) FAX06(6969)-0510  
大阪営業所 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東2丁目22-18  
☎06(6961)-0325 FAX06(6961)-1199  
東京営業所 〒153-0063 東京都目黒区目黒2-10-8-9F  
☎03(3495)-6971 FAX03(3495)-6977  
名古屋営業所 〒465-0021 名古屋市名東区猪子石2丁目502  
☎052(775)-7201 FAX052(775)-7202  
広島営業所 〒733-0003 広島市西区三篠町2丁目3番22号  
☎082(239)-7254 FAX082(239)-7256  
福岡営業所 〒811-1311 福岡市南区横手4丁目20番7号  
☎092(574)-5446 FAX092(574)-5450